

高野山大学 学報・同窓会だより 2017.7.1発行

マハー・ヴァイローチャナ

Mahā Vairocana

P2 就任のごあいさつ
P3,4 大学通信
P5 日録・寄付金御礼

P6 高野山大学史
P7-11 同窓会だより
P12 日程・入試情報



まかびるしゃなによらい
「マハー・ヴァイローチャナ」とは大日如来(摩訶毘盧遮那如来)という意味です。



就任のごあいさつ

学長就任ご挨拶



乾仁

本学は高野山真言宗の宗門大学として創設されました。その建学の精神は高祖弘法大師の教えにあります。

大師は「物の興廃は必ず人による」と、「綜芸種智院の式并に序」

（『性霊集』巻第十）の中で人間教育の大切さを謳われました。本学の中心となる使命は、その弘法大師の教えを受け継いで次代に伝え、またその研究成果を社会に発信して、高野山を中心として養われてきた精神文化を広く社会に資することにあると考えます。そのような使命を今後果たしていくために力を尽くしたいと思います。本学の運営方針を表す標語として掲げたいのは「学生ファースト」と「丁寧な指導と、対応」です。かつて評論家の立花隆は、大学とは自分で学ぶということとを学ぶところだと定義しました。私たちの時代の大学は、学生をやや突き放したそのような大学でありました。しかし時代は変わりました。大学も大衆化しました。さらに長寿社会に入り、医療の発達もあって健康寿命が延び、そのため大学には従来の若者に加えて社会人入学生も目立つようになりました。

こうした多様な学生に対応するために、教育体制と事務体制を見直し、学生の修学と生活を支援したいと考えています。そして本学のイメージ戦略として、一つには「学生の満足度の高い大学であること」、二つには「特色のある大学であること」を目標に掲げ、教職員一同で魅力ある明るい大学づくりに取り組んでまいりたいと存じます。皆様のさらなるご支援・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

法人本部長就任ご挨拶



芝田 啓治

今年度から法人本部長に就任しました。岡本正志前法人本部長の路線をしっかり受け継ぎながら、職務を全うしたいと考えています。

就任に当たり一言、ご挨拶申し上げます。

『温故知新』という言葉がありますが、高野山そして学園の『古きを温ね』の前段部分は申し分なく、千二百年のそして百三十年の歴史

と文化、伝統と評価は誰しもが認めるものです。

平成16年の世界文化遺産の認定であったり、その10年後のナショナルジオグラフィックによる世界20大観光地の一つとして、日本から唯一高野山が選定されました。また、国宝23点・重要文化財180点は、日本の1718市町村中、何と京都市・奈良市・大阪市・斑鳩町に次いで6位です。この地の文化や伝統、教えや学びは、世界的なものだと誰しも認めるところです。

ならば、後段『知新』はとなると十分生かし切れていない部分があります。景気の停滞や少子高齢化、価値の多様化や成熟度社会の大きな波の中で、歩むべき新しき道を模索しなければなりません。

このように膠着状態や停滞状況にある中で、一つの打開策として『若者・バカ者・よそ者』の発想が必要と考えられます。『若者』とは年齢ではなくエネルギーを持つ者であり、『バカ者』とは既成概念すら理解しない者であり、『よそ者』とは旧来の価値観の枠組みからはみ出した者です。

『若者・バカ者・よそ者』の反意語は、『老獺』『保守主義』であり、『小賢しい』『前例主義』であり、『身内意識』『排他主義』と申せましょう。これら三主義をままとすると、ビュロクラシー官僚主義となります。世界的・歴史的『温故』は、この小さな存在である『若者・バカ者・よそ者』をしっかりと受け止め、育てていただきたいものです。經典を理解していないや新参者の一言で異物を寄せ付けけないのではなく、あこや貝のように異物を受け止め、異物を包み込むことによって「真珠袋」を生み、その痛みの末に崇高で気高く、清楚な真珠が生まれるのです。

力を結集して、ベクトルを合わせて素晴らしい真珠を世に送り出していきたいものです。

副学長（教務担当）兼密教文化研究所長
就任ご挨拶
奥山 直司



このたび教務担当副学長を命ぜられました。密教文化研究所長も当面は兼任ということになっています。四月以来、これまでの二倍、いや三倍忙しくなった気がしています。ですが、学生

担当副学長の佐藤先生はじめ、教職員のみなさんと協力して、新たに船出した乾丸の航海を支えるために微力を尽くしたいと考えています。

教務担当副学長が管轄する仕事は、教務関係業務のほか、FD、教員人事、学外の諸組織との連携事業など多岐に渡ります。また密教文化研究所長としては、従来の諸事業に加えて、今年度から私立大学研究ブランディング事業「高野山アーカイブプロジェクト」と博学（霊宝館と高野山大学）連携事業を管轄することになりました。改めて数えあげてみれば、実に膨大な仕事量です。「完璧を目指すよりもまず終わらせる」の精神で何とかこなしてゆきたいと思いますが、なかなか大変です。

その反面、これまでとは違ったポジションでものごとを見、考え、人に会うことに面白味も感じています。「人の交わりにも季節あり」と書いたのは南方熊楠でした。であればこそ、今この時、この関係を大切にしなければならぬ、ということでしょう。もちろん、自分の研究を止めるつもりもありません。改めて宜しく願ひする次第です。

高野山大学・私立大学研究 ブランドینگ事業に選定

この程、高野山大学が提案した「高野山アーカイブ」が、「私立大学研究ブランドینگ事業（文部科学省）」に選定されました。同事業は、文部科学省が全学的な独自色を打ち出す研究に対して、5年間に渡って経常費、設備費、施設費を重点的に支援するものです。全国の私立大学から約200件の申請があり、13パーセントという厳しい採択率のなか、40校が選定されました。本学では今後5年間、「高野山アーカイブ」の構築と世界遺産高野山の生成・発展・継承に関する密教的研究に取り組みます。先人のたゆみない努力によつて継承されてきた本学の貴重な歴史的資料をアーカイブ化し、真言密教の教えや遺産を次世代につなぐことは、大学の叡智の結集であると同時に、社会貢献です。また、高野山大学はこのプロジェクトを通じて、次代の真言宗を担う人材の育成にも力を注いでいきたいと考えています。

本事業の成果は、今後随時、本学ホームページの特設サイトで公開いたします。

難波サテライト教室 開設記念講座

平成29年1月22日（日）、大阪府立国際会議場において、「生老病死のスピリチュアルケア」体内記憶から読み解く命のつながり」と題して、高野山大学難波サテライト教室開設記念講座を開講しました。当日は、医学博士の池



川明先生を講師としてお迎えし、約2時間半にわたり講演会とディスカッションを行いました。講演中は、池川先生が実際携わった事例の中から、障害を背負って生まれた子、虐待の経験がある子どもの、胎内記憶に関する映像の紹介や、「そもそも私たちが生まれてきた目的」「や」「生まれてくること死んでゆくこと」のつながりなどのテーマにまでおよび、受講生は熱心に耳を傾け、多くの質問がされました。

難波サテライト教室・密教実践 センター開設記念公開講座

平成29年4月23日（日）、4月に開室した高野山大学難波サテライト教室（大阪市浪速区難波1-10-4南海野村ビル7階）にて「高野山大学難波サテライト教室・密教実践センター開設記念公開講座、ミニオープンキャンパス」を開催しました。乾龍仁新学長の開式の辞に続き、文学部人間学科の森崎雅好准教授が大学や学科について説明し、同学科・井上ウィマラ教授が、「スピリチュアルケアとマインドフルネス」と題して模擬講義を行いました。来場者は38名でした。

難波サテライト教室は、医療、福祉、教育などの現場で活躍する社会人の育成・支援をするべく開設されました。同時にいのちのケアの現場で実践活動をされている方々を支援するための基地となる「高野山大学密教実践センター」も併設しました。

難波サテライト教室では今後、平成29年10月1日（日）、平成30年1月21日（日）にオープンキャンパスを開催致します。



高野山大学・千代田学園提携

平成29年1月25日（水）、高野山大学は大阪千代田短期大学（学校法人千代田学園）、大阪光高等学校（同）と教育連携に関する包括協定を締結し、調印式を挙行了しました。学校法人千代田学園は弘法



大師の教えを教学理念として掲げた人間教育を行っており、包括協定締結により教育分野での交流を積極的に推進していく予定です。

連続講座開講

平成29年2月14日（火）から3月14日（火）にかけて、高野山大学大阪サテライトキャンパス（大阪大学中之島センター）は3月末閉室において、連続講座を開講しました。本学教員が講師を務める同講座は、仏教や密教、弘法大師空海の教えに興味のある一般の方に、アクセスのよい大阪都心で気軽に講座に参加していただく為に定期的に開講しています。今回は「密教入門講座」「弘法大師の思想入門（即身成仏義）を読む」「経典に基づく曼荼羅の作図」など、10講座を開講し、延べ200名の方が受講されました。

春季集団加行

平成29年2月7日（火）から3月27日（月）まで、本学大菩提院（加行道場）において、高野山総持院上綱・宮田永明大阿に伝授阿闍梨をお勤めいただき、春季集団加行を行いました。加行者は、約50日間、白雲寮（僧房）に住し



て、修行に一心専心しました。

今季の加行者は、前期4名（密教学科2回生1名、別科生3名）、後期2名（密教学科3回生1名、人間学科2回生1名）の計6名でした。

学位記授与式

平成29年3月15日（水）午前10時より、松下講堂黎明館に於いて、第90回（新制第66回）学位記授与式が挙行され、保護者・師僧、本山役職・来賓、学園関係者の列席のもと、文学部密教学科24名・大学院修士課程6名・大学院博士課程（学位取得）1名、通信教育課程12名、別科13名のあわせて56名が本学を巣立ちました。授与式は、藤田光寛学長より学位記・修了証書が一ひとりに手渡され、厳かに執り行なわれました。



入学式

平成29年4月5日（水）午前10時より、松下講堂黎明館に於いて、平成29年度高野山大学入学式が新入生、保護者・師僧、宗団・本山・学園関係者を迎え挙行されました。新入生総数は

98名、内訳は次のとおりです。文学部（密教学科22名・人間学科8名、密教学科3学年編入3名、人間学科3学年編入20名）、別科（密教専修コース1名、スピリチュアルケアコース6名）、大学院修士課程（密教学専攻9名、仏教学専攻1名、密教学専攻（通信教育課程）25名、大学院博士課程（密教学専攻2名、仏教学専攻1名）



新講義開講 「日本語」「チベット語」

現在高野山大学では学部、大学院、別科に真言密教の歴史や実践、弘法大師の教学を修学しようと、16名の留学生が学んでいます。密教への理解を深めるため、初の試みとして単位取得可能な日本語講義を開講しました。現在は、「日本語初級～上級」の4科目が開講しており、14名が受講しています。

また受託研究員、テンジン・ウセル氏による「チベット語講座」も開講し、受講学生はチベット語修得と共に、チベット文化の理解にも熱心に励んでいます。

真言密教を継承する高野山は、真言密教の一大都市として世界から注目を浴びており、高野山大学は密教の実践を含む弘法大師由来の教育の場として、留学生への日本語教育の強化にも励んでいます。



オープンキャンパス開催

平成29年5月28日（日）、6月25日（日）、オープンキャンパスを開催しました。密教・人間学科それぞれで模擬講義を開講し、阿字観や書道体験に加え、茶道部がお献茶し来場者をおもてなしました。昨年恒例となった、高野山の地域文化体験として、「宝来つくり」や学生食堂での精進ランチなどの企画も好評でした。7月以降の本学での開催は7月30日（日）と8月20日（日）で、それぞれ、胡麻豆腐づくり体験や、御速夜ナイトウォーク・山内散策・宿坊体験ツアーなどの特別企画を実施します。詳細に関しては、企画課（0736-56-5445）までお問合せください。



集団得度式

平成29年5月31日（水）、総本山金剛峯寺（上段の間）において、高野山真言宗管長・総本山金剛峯寺座主・中西啓實親下の戒師のもと、高野山学園得度式を執り行いました。



授戒

受者は、臨席の本山重役、大学・高校役職、師僧、保護者に見守られ、戒師より、剃髪、如法衣の授与後、戒を授かり、出家しました。今年度の本学関係受者は、14名（密教学科3回生1名、同学科2回生1名、同学科1回生3名、別科生1名、大学院生3名、通信生1名、教職員1名、一般3名）でした。

平成29年6月7日（水）から9日（金）まで、本学大菩提院（加行道場）において、高野山総持院上綱・宮田永明大阿の戒師のもと、授戒を開壇しました。

受者は、仏名会を修し、本学教職員証明師立会のもと、戒師より、戒を授かりました。



今年度の受者は、29名（密教学科4回生1名、同学科3回生1名、同学科2回生6名、同学科1回生3名、大学院生5名、通信生4名、別科生1名、教職員2名、一般6名）でした。

奨学金採用結果

奨学金（平成29年度採用）

【高野山大学奨学金】	3名
【高野山大学同窓会奨学金】	3名
【松浦禪朝奨学金】	該当者なし
【川原奨学金（一種）】	1名
【川原奨学金（二種）】	2名
【名越奨学金】	3名
【住職会奨学金】	2名
【申徳会奨学金】	2名
【佐伯奨学金】	2名

授賞報告



愛知県芸術文化選奨授賞式にて、大村秀章愛知県知事（右）と。

二村利之氏 愛知県芸術文化選奨授賞

地元愛知県はもとより、全国の現代演劇や舞台芸術の活動を支え続けている、プロデューサー・二村利之（ふたむらとしゆき）さん（54歳、仏教学科卒）がこの度、日本文化の発展と継承に貢献した芸術家などに送られる、愛知県芸術文化選奨を授賞。高野山大学在学中は新聞部に属し、梅原猛氏や上山春平氏講演会などを手がける。卒業後、名古屋タイムズ社入社、文化部記者を経て、昭和47年名古屋市内大須に、演劇上演を中心とした七ツ寺共同スタジオを創立、代表を務め、多くの先駆的な舞台や演劇をプロデュース。主なプロデュース公演は、野外劇『高丘親王航海記』（原作…澁澤龍彦、朗読劇『蕨野行』（原作…村田喜代子）など多数。

《略歴》

昭和20年名古屋生まれ、七ツ寺共同スタジオ顧問、元代表。昭和44年高野山大学仏教学科卒業。



野外劇『高丘親王航海記』より

1月										2月										3月									
1日	※元旦	2日	※成人の日	3日	修土論文提出期限(正午)	4日	修土論文提出期限(正午)	5日	★教授会	6日	卒業論文提出期限(正午)	7日	大阪千代田短期大学・大阪光高等学校との連携調印式	8日	後期授業終了	9日	予備日	10日	予備日	11日	予備日	12日	予備日	13日	予備日	14日	予備日	15日	予備日
16日	予備日	17日	予備日	18日	予備日	19日	予備日	20日	予備日	21日	予備日	22日	予備日	23日	予備日	24日	予備日	25日	予備日	26日	予備日	27日	予備日	28日	予備日	29日	予備日	30日	予備日
31日	予備日	32日	予備日	33日	予備日	34日	予備日	35日	予備日	36日	予備日	37日	予備日	38日	予備日	39日	予備日	40日	予備日	41日	予備日	42日	予備日	43日	予備日	44日	予備日	45日	予備日

平成28年度10月
真福寺 永崎亮寛 三万円
福島宗務支所長 箱崎亮弘 二万円

前号で記載漏れがございました。
心よりお詫び申し上げますと共に、
御礼申し上げます。

平成28年度11月～3月末日
チベットのハウス 百十万五千三百七十円
西原司朗 二万七千円
赤松祐光 三万円
学校法人 千代田学園 三万円
大乗寺 長谷部真道 三万円
高野山住職会 飛鷹全隆 百万円
高野山住職会 二百三十二万円
一休院 山添竜法 五千万円

平成29年度4月～5月末日
榎木捷 三万円
学校法人清風学園 理事長 平岡英信 一万円
陳文君 二万円

厚く御礼申し上げます。

平成29年度 宗教行事

夏季集団加行
前期 平成29年8月5日(土)～9月24日(日)
後期 平成29年8月11日(金)～9月24日(日)
伝法灌頂
平成29年10月下旬～11月上旬
春季集団加行
平成30年2月上旬～3月下旬

高野山大学フジキン

小川修平記念講座講演会

宇宙の摂理への想い
科学と宗教の視点から

第十回公開講座

日時：平成29年7月22日(土)
開演12時30分～15時30分

場所：高野山大学 松下講堂黎明館

講演1 「人工知能と書」長尾真先生

京都大学名誉教授・元総長／国立国会図書館元館長

講演2 「手書き文字認識の過去・現状・未来」

中川正樹先生

東京農工大学工学部教授・大学院工学府情報工学専攻

講演3 「弘法大師の書」木本南郎先生

高野山大学名誉教授／書家

第十一回公開講座

日時：平成29年10月28日(土)
開演13時～16時

場所：大阪市中央公会堂

(大阪市北区中之島1-1-27)

講演1 「仏教と科学」佐々木閑先生

花園大学教授

講演2

「脳と心」藤田一郎先生

大阪大学教授



宇宙の摂理への想い

高野山大学フジキン小川修平記念
講座事務局(高野山大学企画課内)

TEL0736-56-5445

第9回 高野山大学史

旧制高野山大学設立(旧校舎)時代～

高野山大学総合学術機構(図書館・密教文化研究所) 課長・密教文化研究所 受託研究員

木下 浩良

昭和16年(1941)12月8日、日本は英米に宣戦布告をし、3年9ヶ月に及ぶ太平洋戦争が始まった。既に、大正14年(1925)より、陸軍から軍事教練指導のため、中等学校以上の学校に配属将校が配されていた。高野山大学には大佐級の将校一名と尉官数名が配属されて、軍事教練が行われていた。旧校舎の学生課横の倉庫には三八式歩兵銃が常備された。

高野山大学の軍事教練の成績は、近畿地区の大学の中でも上位であった。この頃の近畿地区白線帽大会(予科祭)の時、本学予科の学生たちは、白衣の上に紋付・袴の出で立ち、高野山大学と大書した幟を持ち、寮歌・惜春歌を歌い、大阪の心齋橋筋などを行進すると、他大学生は「お山から出てきた」と言つて道を開けたものだと言っている。

戦争の激化にともない、高野山へ軍隊が逗留することになる。それが、海軍飛行予科練習所で、いわゆる予科練であった。設置場所は高野山中学(現在の高野山高校)で、山内寺院は軍隊の宿舎となった。そのために、中学が本学の校舎を使用し、本学では図書館と講堂を教室として使用した。今の松下講堂黎明館付近には、空襲に備えて2基の高射砲が設けられて、図書館の外壁はコイルタールで真っ黒に偽装のための塗装がなされた。

昭和20年(1945)には、1・2回生を除いて、ほとんどの学生は学徒志願で戦地へ行き、残された学生



軍事教練



軍事教練

たちも和歌山住友金属へ勤労働員となるが、それら在校生の学生たちにも過酷な運命が待っていた。それが空襲で、同年5月の空襲で仏教学科学生、片岡隆道師が、6月の空襲では同学科、上田昭道師が共に殉死したのであった。上田師が死亡したのは、松長有慶前管長猊下の目前であつたという。

そして同年8月15日、天皇陛下の玉音放送で終戦を迎える。同日、陛下の終戦の詔書の放送が出たにも関わらず、本学の配属将校が学生に軍事教練を課そうとしたその時、酒井真典教授(後年の本学学長)が、「戦争は終わったんだ」と一喝して事なきを得た。満州事変から日中戦争を含めると、実に15年に及ぶ長い戦争に、高野山大学でも終止符が打たれた瞬間であつた。

(次号へつづく)

役員会・総会を開催

去る5月29日(月)、平成29年度高野山大学同窓会役員会および総会が高野山大学において開催されました。役員会・総会ともに活発な意見交換がなされ、出席された皆様の母校に対する真摯な想いにより、建設的な議論の場となりました。

出席者は、次のとおりです。
(順不同・敬称略)

- 【高野山大学】乾龍仁学長
- 【法人本部】芝田啓治本部長
- 【役員】松長有慶、内海照隆、鐘ヶ江尊明、川口道雄、伊勢木俊真、清水敦雄、杉井永明、曾根義泉、橘隆寛、永崎亮寛、長原敬峰、山本弘昭、近藤大玄、八木恵生、大川吉崇、吉川峰明、藤村隆淳、竹原祐乘、新後純雄、金山真澄、濱川信裕、久松宝詮、江頭弘勝、福森暢瑞、田尾秀寛
- 【会員】市川善博、内田正子、尾谷正剛、北岡瑞人、坂田光斎、中垣内臨慎、松浦祐豊
- 【報道】高野山出版社 中谷満博
- 【事務局】飛鷹、宮崎

役員会・総会の議事の概要は、左記のとおりです。

役員会議事録(抄)

議事に先立ち御法案を捧げ、内海照隆会長、乾龍仁学長、芝田啓治法人本部長の挨拶の後、会則第10条の規定により、会長が議長となり議事に入る。

第一号議案 平成28年度決算について(別掲)

○事務局より決算の詳細について説明を行った後、八木恵生監事より「適切に処理されている」旨の監査報告を受けて、慎重審議の結果承認された。

第二号議案 平成29年度予算について(別掲)

○審議の結果、原案どおり承認された。

第三号議案 平成29年度支部活動費の助成について

○前年度同様、支部活動助成金として総会開催支部に助成することが、全会一致で承認された。(助成金額は各支部の前年度会費収入の10%)

総会議事録(抄)

議事に先立ち御法案を捧げ、内海照隆会長、乾龍仁学長、芝田啓治法人本部長挨拶の後、会則第11条第3項の規定により出席者互選の結果、永崎亮寛理事を議長に選任し、議事に入る。

第一号議案 平成28年度決算について(別掲)

○事務局より決算の詳細について説明を行った後、近藤大玄監事より「適切に処理されている」旨の監査報告を受けて、慎重審議の結果承認された。

第二号議案 平成29年度予算について(別掲)

○審議の結果、原案どおり承認された。

第三号議案 平成29年度支部活動費の助成について

○前年度同様、支部活動助成金として総会開催支部に助成することが、全会一致で承認された。(助成金額は各支部の前年度会費収入の10%)

【その他】

○平成27年度より実施・増額された「事業費(学生募集支援事業…100万円)」「同窓会奨学金(海外交流助成…100万円)」については、引き続き同額予算にて承認された。

予算についての説明概要は以下のとおり。昨年11月高野山大学とラーチャモンコン・ラタナコーシン工科大学は、大学間学術交流協定(MOU)を締結した。それに基づき本年度は5名の留学生を人間学科に編入学で受け入れることが実現した。これはひとえに同窓会が先鞭をつける形で、留学生の受け入れのための態勢づくりを支援した成果である。タイとの縁を作っていたいただいた真照寺水谷栄寛僧正には改めて御礼申し上げるとともに、同窓会として引き続き留学生受け入れ支援を継続していきたい考えである。海外交流助成を名目とする同窓会奨学金については、大学当局とその運用方法については協議したい。」

○「災害見舞金」は、従来は地震被害を想定していたが、今後は火災被害も含めてその運用方法を検討するようにとの意見があった。大学規定等を参考にしつつ、慶弔規定、災害見舞規程を事務局で素案を用意したい。

○恵光院近藤大玄僧正より、山内の寺院子弟が高野山大学に入学しない傾向にあるとの意見が流布しているが、実状を調べると6〜7割程度が入学している。印象論で誤った情報を流さないように、と注意が喚起された。

○総会後の懇親会では、お笑い芸人キングコングの西野亮廣氏を特別ゲストにお招きし、ご講演を頂戴した。

ご自身がプロデュースされた絵本『えんとつ町のプペル』の制作から販売に至る舞台の裏側を事例として、新しい物事を創り出すための発想法やノウハウを懇切に解説いただいた。「高野山には世界に通用する可能性がたくさんある。ただそのためには空海さんのなさったことをそのままコピーするのはなく、その姿勢を学ぶことが大切だ」と思



う」と熱く語られたのが印象的であった。講演後は食堂に場所を移して乾杯。ミシラン一つ星を獲得された五條源兵衛さんの特別料理に舌鼓を打ちつつ、歓談に花を咲かせた。



役員人事

① 備前支部会長

退任 福田寺全巨
就任 新後 純雄
(平成28年6月23日就任)

② 高知支部支部長

就任 増田 全英
(平成28年10月12日付)

③ 徳島県支部支部長

退任 大平 正大
就任 濱川 信裕
(平成29年1月1日付)

④ 大阪支部会長

退任 渡邊 公雄
就任 吉川 峰明
(平成29年4月1日付)

⑤ 愛媛支部会長

退任 池田 慶法
就任 久松 宝詮
(平成29年6月1日付)

大学院通信教育課程 支部総会

平成28年11月5日(土)午後4時から、大阪梅田の阪急グランドビル19階「関西文化サロンの間」に於いて大学院通信教育課程支部総会を開催し、18名が参加しました。

今年度は総会での決議事項は特になく、講師に高野山大学名誉教授 静慈圓先生をお招きして「日中文化交流三十年ー空海ロード2400キロを中心としてー」と題した講演を賜りました。

引き続き別室に移って懇親会を実施し、来賓の高野山大学・乾仁志教授による乾杯の音頭の後、各自が自己紹介を行い和やかに懇談し、午後7時30分に散会しました。

出席者(順不同 敬称略)

【会員】川田綾子(兵庫県)、白千悦(大阪府)、益子昇(兵庫県)、御前正(大阪府)、岡野秀鑑(東京都)、小松龍正(石川県)、堀義弘(大阪府)、渡辺孝蔵(東京都)、馬場秀雄(鳥取県)、長尾収(和歌山県)、中村義夫(大阪府)、渡辺善彦(新潟県)【支部長】田尾秀寛(奈良県)【副支部長】川田薫(茨城県)、京崎孝(兵庫県)【総務担当】角川博泉(大阪府)【会計担当】藤巻弘(大阪府)【広



大学院通信教育課程支部総会

報担当)岡田守(大阪府)

(広報担当 岡田 守 記)

三九会

高野山大学昭和39年卒業生同窓会が、平成28年11月9日、10日、静岡県伊豆修善寺温泉・ホテル桂川にて行われ、参加者は夫人を含め22名でした。

この日は、珍しく富士山を見ることができ参加者も歓喜されました。9日は、弘法大師創建の古刹・修善寺に参拝、次に弘法大師が独鈷で岩を打ち砕き温泉を湧き出させたという独鈷の湯を見学の後、ホテルに戻り夕刻より懇親会が行われ、一年ぶり(数年ぶりの人)の再会に歓談致しました。

2日目は、願成就院に参拝、三九会先亡諸霊の供養を行いました。住職より寺院の歴史、文化財の仏像等のご説明を頂きました。願成就院を後にし世界遺産の蘆山反射炉を見学、昼食をとり、来年の富山での再会を誓い三島駅で解散致しました。



三九会

出席者(順不同・敬称略)

井口義弘夫妻、田村清光夫妻、寺島慎佳夫妻、堀井隆川夫妻、松本文秀夫妻、和田捷海夫妻、川島弘之、木村有泉、坂田快達、柴坂和臣、野溝良尊、高畑公信、丸井弘亘、山田戒乘、武田義昭夫妻

(幹事 武田義昭 記)

いろは支部 総会・記念式典

平成28年11月20日(日)、高野山大学に於いて、いろは支部総会・記念式典が開催されました。

定刻10時総会。御法案を捧げ、川口道雄支部長挨拶の後、議長を選出し議事に入り、決算・予算案共に異議なく承認され、大学支援広報活動の強化、高野山内公衆トイレの清掃活動の継続を確認しました。

総会終了後、午後1時より記念式典を挙行し、御法案、御来賓ご祝辞、校歌斉唱のあと、川口支部長より「高野山大学教育研究助成金」の贈呈がありました。

引き続き、高野山大学名誉教授の



いろは支部記念式典

山陰加春夫先生による「お大師様の教え」と題した講演や、「ダンスサークル Red Family」によるダンスが行われ、参加者にお楽しみいただきました。今年も、300人を超える皆様の御臨席を得て、盛大裡に式典を執り行うことが出来ました。

心より御礼申し上げます。

(事務局長 西原司朗 記)

東北支部総会

平成28年11月28日(月)に平成28年度高野山大学東北支部総会を、岩手県盛岡市のホテル東日本盛岡にて開催しました。

総会では高野山大学同窓会事務長の飛鷹全法先生から同窓会総会並びに同大学の現状報告があり、同窓会総会での同窓会の方針や海外交流支援事業について話され、相撲協会など著名な方々との交流についてや、タイのラタナコーシン工科大学との相互交流、提携などの海外交流を通じた高野山を海外に発信するための取り組みが報告されました。また、少子化の中、人材確保や高野山活性のために海外へ目を向けた活動についても報告されました。



東北支部総会

大阪支部総会

(東北支部 安達照純 記)

平成28年11月28日(月)新阪急ホテルに於いて、平成28年度大阪支部総会を開催致しました。

本部より内海照隆同窓会会長、和田友伸法人本部事務局長の出席を頂き、30名が参加。ご法案の後、元木成彦大阪支部副会長の挨拶に続き、内海照隆同窓会会長にご挨拶を頂き、



大阪支部総会

和田友伸法人代表事務局局長から大学の現状についての報告がありました。

続いて、村主弘禪師を議長に選出し議事に入り、すべての議事が承認され、閉会。

引き続き、高野山大学文学部教授・密教文化研究所所長・奥山直司先生に「南方熊楠と真言密教」と題してご講演を賜りました。

その後懇親会に移り和やかに歓談。それぞれ高野山大学への熱い思いを語り合い、最後に全員で校歌を熱唱し、中西隆英師の閉会の挨拶で盛会のうちに総会を終えました。

(事務局 桑原弘海 記)

徳島県支部総会

高野山大学同窓会徳島県支部では、平成29年1月23日(月)午後4時より、徳島フシントンプラザホテルに於いて総会を開催いたしました。

御法案の後、新入会員の紹介をし、大平正大支部長(阿波市・切幡寺)が挨拶。そして、高野山大学学長の藤田光寛僧正様よりご挨拶を頂き、高野山大学同窓会の飛鷹全



徳島県支部総会

法事務局長から大学の現在の状況・報告を含んだ祝辞を頂きました。

協議では、平成28年度の会務・会計報告を滞りなく終え、総会を閉会いたしました。

引き続き、高野山大学教授の乾仁志先生を講師に招き、「日本の曼茶羅と尊像―金剛界曼茶羅―」と題し、パソコンからスクリーンに珍しい曼茶羅の数々を乾先生自ら映して頂き、様々な曼茶羅について講演していただきました。

その後、懇親会を行い盛会のうちに今年度の同窓会を終えました。

(事務局 谷口和徳 記)

愛媛支部総会

平成29年2月15日(水)、松山市道後「古湧園」にて第5回高野山大学同窓会愛媛支部総会が開催されました。

同窓会愛媛支部は、平成17年に設立され、現在会員約200名、年一回の役員会、三年に一回の総会の活動を通じて大学の運営への影ながらの協力と、会員相互の親睦を図っています。

今回の愛媛支部総会には、高野山大学同窓会会長内海照隆僧正、高野山大学学長藤田光寛僧正、高野山学園法人本部長岡本正志氏、高野山大学同窓会事務局長飛鷹全法僧正の来賓をお迎えし、愛媛支部会員多数の参加を得、盛会のうちに開催されました。学園法人本部長岡本氏からは、高野山大学の現状や問題それに取り組み熱い心の感じられる話を伺いました。

「高野山大学で学ぶ意義」と題した学長藤田光寛僧正の記念講演で

は、高野山大学の密教研究機関としての唯一性や研究の蓄積の多さについて認識を新たにしたことが出来ました。写真を交えての講演に、恩師の若いころの姿を見て懐かしさも覚えました。

高野山大学への愛着や、会員相互の親睦を新たにしたい有意義な同窓会愛媛支部総会でした。

(事務局 大海智宣 記)

大取一馬先生御退官謝恩会

元高野山大学助教授大取一馬先生が龍谷大学を御退官され、先生御在職中の本学国文学専攻同窓生によって、平成29年4月29日(土)ホテル日航大阪にて御退官謝恩会を開催致しました。

当日は50名を超える同窓生にお



大取一馬先生御退官謝恩会

集まりいただき、当時の話に花が咲き、学生時代に戻ったようなひとときを過ごせました。先生も変わらぬ優しい笑顔で一人一人と和やかにお話をされ、またの再会を楽しみにされておられました。

これを機会に、国文学専攻の同窓会を結成し、楽しい時間を作れることを願っております。

(謝恩会実行委員会 矢野寛耕 記)

南山在山路徒激励会

高野山真言宗淡路宗務支所(支所長南岳利英師)主催による南山在山路徒激励会が、平成29年5月29日(月)午前11時30分より高野山大学において開催され、学生2名を含む7名の出席がありました。

約1時間、学生を交えて歓談した後、淡路自治布教団長竹原祐乗師より南山で学ぶ学生に奨学金などが授与されました。

尚、本学からは乾学長、森崎准教授、日下企画課長、安見学生サポーター課係長が出席しました。

(高野山大学 小南友紀 記)



南山在山路徒激励会

高野山大学同窓会役員

平成29年6月1日現在

名誉会長
顧問
会長
副会長
理事

監事

北海道支部支部長
東北支部支部長
神奈川支部支部長
東海地区会長
三重県支部支部長
大阪支部会長
播磨地区会長
兵庫・阪神地区会長
淡路地区会長
但馬地区会長※兵庫県支部会長
和歌山支部支部長
美作支部支部長
備前支部会長
備中支部会長
広島県支部会長
徳島県支部支部長
愛媛支部会長
高知支部支部長
九州支部(鎮西会)会長
いろは支部支部長
和恒会支部支部長
大学院通信教育課程支部支部長

名越 観全
松長 有慶
内海 照隆
鐘ヶ江 尊明
川口 道雄
富家 海信
安藤 尊仁
伊勢木 俊真
清水 教雄
杉井 永明
曾根 義泉
橘 隆寛
永崎 亮寛
仲下 瑞法
長原 敬峰
山本 戒乘
山田 弘詔
今川 泰伸
近藤 大玄
八木 恵生
山本 弘詔
間野 英樹
安藤 尊仁
大川 吉崇
柏木 文雄
吉川 峰明
藤村 隆淳
西蔵 全祐
瀬尾 弘澄
小川 祐泉
塩谷 光隆
主原 啓隆
新後 純雄
金山 真澄
廣安 俊道
廣川 信裕
久松 宝詮
増田 全英
江頭 弘勝
川口 道雄
福田 敏勝
田尾 秀寛

同窓会だより 第51号

同窓会費を送っていただいた方々

平成28年11月1日～平成29年5月31日現在
(順不同・敬称略)
※氏名下の○内の数字は会費の納入金額(単位千円)を表します。

[illegible]

平成28年度高野山大学同窓会会計報告

※平成29年5月29日(月)開催の総会にて承認済み

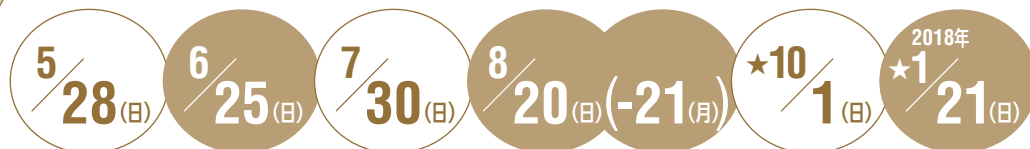
収入の部				支出の部			
費 目	予 算	決 算	差 異	費 目	予 算	決 算	差 異
会 費 収 入	6,024,000	5,564,000	460,000	通 信 費 支 出	300,000	74,445	225,555
同窓会総会懇親会収入	490,000	272,460	217,540	旅 費 交 通 費 支 出	1,300,000	1,217,700	82,300
				会 議 交 際 費 支 出	100,000	52,400	47,600
寄 附 金 収 入	100,000	207,000	△ 107,000	印 刷 製 本 費 支 出	1,500,000	925,418	574,582
				慶 弔 費 支 出	650,000	584,731	65,269
預 金 利 息 収 入	100,000	106,938	△ 6,938	事 業 費 支 出	2,500,000	1,399,826	1,100,174
				事 務 局 費 支 出	1,900,000	1,895,132	4,868
雑 収 入	10,000	0	10,000	雑 費 支 出	100,000	0	100,000
				同窓会資金特定預金への繰入支出	0	0	0
前年度繰越支払資金	15,916,193	15,916,193	0	同 窓 会 奨 学 金 支 出	1,300,000	300,000	1,000,000
				災 害 見 舞 金 支 出	3,000,000	0	3,000,000
				同 窓 会 総 会 開 催 費 支 出	2,000,000	1,399,418	600,582
				予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
				次 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,990,193	14,217,521	△ 7,227,328
(計)	22,640,193	22,066,591	573,602	(計)	22,640,193	22,066,591	573,602

山本剛補	山田泰雄	山田弘昭	山地康照	山地宏泰	山崎泰廣	數地良道	數地良弘	村田篤彦	松田俊教	松田咲	正木良澄	正井文章	藤原栄善	藤田量典	福岡真法	原寛次	林義弘	長谷川龍光	野中英照	西蔵全祐	名越観全	長原敬真	中原康司	中谷邦明	所昌善	徳岡祥瑞	田路孝尚	丹郷安隆	丹村清光	玉田弘栄	高橋弘之	多門希美	多門高宣	龍田誓生	龍田宗光	竹前快尚	瀧本快海	高田玄明	高倉弘周	瀬尾弘澄	庄野貴博	志摩主祐	芝摩大順	佐伯惠美															
宮武眞雄	宮島恵仁	道上和弘	松長有慶	土生川知永	土生川正實	野田祐治	中西雄策	中西啓賢	仲下瑞法	豊田高暢	田島聖基	竹内崇雄	高岡隆晴	高岡隆真	添田隆昭	佐伯公心	佐伯公隆	齋藤天響	齋藤醸一	近藤泰淳	近藤大玄	木下明道	稲葉照隆	東法研	吉田智史	山下真弘	平岡晋輔	奈良雅弘	永田善弘	田中真由	高橋信風	鈴木貴晶	坂口隆文	北川文章	古川慈照	金森光瑞	上田廣祐	渡邊美佳	渡邊貴道	和多眞乘	若林義尊	米田宗玄	吉尾睦夫	湯口宥彰															
高木伸元	口羽寛典	金田寛良	大槻恵長	【梶根思】	徳岡弘文	寺谷光永	英智有祥	倉信隆忍	木村泉公	生田公厳	【鳥取県】	和田浩明	丸井弘亘	松井隆憲	前田孝道	肥田勝久	春田宗慶	林真人	西山宝性	中山弘明	中原慈良	鶴田隆寛	田村耕也	瑞樹哲也	龍田哲教	高瀬定弘	鈴間敬隆	佐々木孝雄	阪口隆俊	紺田典子	小谷昌隆	佐伯行眞	上田智照	岩橋哲也	石垣泰秀	稲垣清浩	安念正邦	東智學	相田英伸	【和歌山県】	山口耕榮	目黒寿典																	
坪井綾広	津守密乗	多田嘉代子	多田雅博	多田増鑑	竹井里真	竹井成範	詫間清岡	窪山浩之	瀧口光俊	高宮浩彰	高峰秀光	杉井義明	堀澤弘典	滋沢弘応	佐藤泰三	近藤久應	込山光仁	小笹雄全	黒井泰然	雲井昭伝	岸村増弘	北村秀明	川村光雅	亀井山真澄	金山真澄	鏡原直恵	加賀尾臨斎	小畑徹真	小野田勝三	越智淳仁	小田健枝	大橋聖全	上西孝道	岩崎増英	今村上寛心	井上敏彰	石原伸俊	浅浪昇廉	明菜康延	西脇見新	宮川晋一	西蔭孝尚	茶井有勝	高橋英康															
多田義信	高田律子	菅梅勸裕	菅梅素弘	菅梅行恭	坂本達巳	海暢充	古賀秀彦	龜山修幸	片山尊之	大塚敬子	荻浩俊	岩本礼子	石田博彦	和田捷海	松本英典	刈川重樹	平尾隆信	服部文昭	中村雅信	谷口宏仁	田村智智	宮寺密守	富田三毛門	丸尾良然	真西禮範	松本義正	近藤泰教	久米秀生	笠井法真	尾本一郎	岡部義典	大西智城	大塚弘師	荒尾義章	今川泰伸	大塚陽子	福田寺全	福田寺全	長橋高明	橋本高諄	野條俊應	木本泰國	鈴木悟文	田嶋彰	福嶋弘祐	村上保壽	【徳島県】	板脇匡臣	板脇俊匡	井下澗潤	盛田資実	宮城徹	溝渚靖憲	水野忠恵	古澤恵昭	長谷川恵津	長村龍汰	乃村実生	瀬尾哲命
芝原秀寛	小林正尚	加藤弘淳	香川法俊	大西一郎	逢坂眞海	辻雪雅文	石井有輝	【香川県】	横山隆弘	山田戒乘	柳本明善	森智信	宮内宏匡	宮内義典	真鍋俊照	松本法雄	松本英典	服部文昭	中村雅信	谷口宏仁	田村智智	宮寺密守	富田三毛門	丸尾良然	真西禮範	松本義正	近藤泰教	久米秀生	笠井法真	尾本一郎	岡部義典	大西智城	大塚弘師	荒尾義章	今川泰伸	大塚陽子	福田寺全	福田寺全	長橋高明	橋本高諄	野條俊應	木本泰國	鈴木悟文	田嶋彰	福嶋弘祐	村上保壽	【愛媛県】	板脇匡臣	板脇俊匡	井下澗潤	盛田資実	宮城徹	溝渚靖憲	水野忠恵	古澤恵昭	長谷川恵津	長村龍汰	乃村実生	瀬尾哲命
伊津野亮海	石川恵猛	【福岡県】	渡辺裕心	廣田全英	林長崎	釣井龍宏	竹内真理	小川峰一	川崎一洋	大石弥生	【高知県】	山崎茂樹	三好陸人	真鍋純穂	松本明慧	藤橋泰永	津村雅雅	谷本祥龍	高松善雄	高橋弘行	曾根謙児	曾根謙児	塩田光明	塩田光明	斎藤友祐	河野允裕	河野真尚	河村義浩	龜山性海	小山田憲正	押田雅文	大森敦司	大海智宣	大國真弘	尾池正喜	今井奉一	板脇匡臣	板脇俊匡	井下澗潤	盛田資実	宮城徹	溝渚靖憲	水野忠恵	古澤恵昭	長谷川恵津	長村龍汰	乃村実生	瀬尾哲命											

平成29年度高野山大学同窓会予算 ※平成29年5月29日(月)開催の総会にて承認済み

オープンキャンパスのご案内

《宝来づくり、胡麻豆腐づくり体験》
《模擬講義》《加行道場見学》
《茶道部お献茶》《書道体験》
《阿字観体験》《進学相談会》
《精進ランチ(無料)》《個別相談》
《AOエントリー》《在校生紹介》
など



※報恩日特別回、お遠夜ナイトウォーク 参加・宿坊体験、山内ツアー実施。 ★難波サテライト教室で開催

イベントの日程や詳細、ご参加・ご見学希望の方は大学公式サイト(<http://www.koyasan-u.ac.jp>)よりお申し込みください。

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。
これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は、
○大学の設備・備品費などの諸経費 ○地域との連携事業の経費
○学習・就職支援室の活動費
などに用いさせていただきます。
高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、“魅力ある学校づくり”をキーワードに、これからも様々な教育改革に取り組んでまいります。皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。
この趣旨にご賛同いただける方は、お手数を御掛けいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。ご連絡をいただきました方には、大学から、
○寄付申込書 ○寄付金用振替用紙 ○返信用封筒
をお送りさせていただきます。なお、寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。
皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用ください。

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの本学教員の講師派遣は、大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】

- ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマを、本学総務課へご連絡ください。
・お電話 0736-56-2921
・F A X 0736-56-2746
・H P <http://www.koyasan-u.ac.jp/info/dispatch>
- 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。
- 「講師派遣依頼書」を提出してください。HP掲載の様式をお使いください。

【講演料(手取り額)】

60分 ￥20,000
90分 ￥30,000

※講演料は、講師に直接お渡しください。

2018年度 入学試験日程

※AO入試には事前エントリーが必要です。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表	手続期間	試験科目
AO入試Ⅰ期	2017年8/1(火)～8/21(月)消印有効 エントリー6/15(木)～8/4(金)	9/2(土)	9/8(金)	9/8(金)～9/25(月)	面接
併設校推薦入試	10/16(月)～11/2(木)必着	11/11(土)	11/17(金)	11/17(金)～12/1(金)	面接
指定校制推薦入試	10/16(月)～11/2(木)消印有効	11/11(土)	11/17(金)	11/17(金)～12/1(金)	小論文(50分100点)／面接
寺院後継者特別入試	10/16(月)～11/2(木)消印有効	11/11(土)	11/17(金)	11/17(金)～12/1(金)	小論文(50分100点)／面接
特定入試(書道)	10/16(月)～11/2(木)消印有効	11/11(土)	11/17(金)	11/17(金)～12/1(金)	書道実技(120分200点)／面接
公募制推薦入試 寺院後継者推薦制度含む 高卒認定合格者推薦制度含む	11/1(水)～11/20(月)消印有効	12/2(土)	12/8(金)	12/8(金)～12/21(木)	小論文(50分100点)／面接
AO入試Ⅱ期	11/1(水)～11/20(月)消印有効 エントリー9/15(金)～11/10(金)	12/2(土)	12/8(金)	12/8(金)～12/21(木)	面接
編入学試験(前期)／ 社会人編入学試験(前期)	11/1(水)～11/20(月)消印有効	12/2(土)	12/8(金)	12/8(金)～12/21(木)	小論文(50分100点)／面接
留学生入学試験Ⅰ期	11/1(水)～11/20(月)消印有効	12/2(土)	12/8(金)	12/8(金)～12/21(木)	日本語／面接
別科入試Ⅰ期 (密教専修・スピリチュアルケアコース)	11/1(水)～11/20(月)消印有効	12/2(土)	12/8(金)	12/8(金)～12/21(木)	試問票／面接
一般入学試験 (前期)	2018年1/10(水)～1/29(月)消印有効	2/5(月) 本学・東京・大阪(難波サテライト)	2/9(金)	2/9(金)～2/23(金)	国語総合(50分100点) 小論文／コミュ英語(50分100点)
社会人入学試験	1/10(水)～1/29(月)消印有効	2/5(月) 本学	2/9(金)	2/9(金)～2/23(金)	小論文(50分100点)／面接
留学生入学試験Ⅱ期	1/10(水)～1/29(月)消印有効	2/5(月)	2/9(金)	2/9(金)～2/23(金)	日本語／面接
一般入学試験 (中期)	2/13(火)～3/1(木)消印有効 窓口受付は5日午後4時まで	3/6(火)	3/9(金)	3/9(金)～3/23(金)	国語総合(50分100点) 小論文／コミュ英語(50分100点)
編入学試験(後期)／ 社会人編入学試験(後期)	2/13(火)～3/1(木)消印有効 窓口受付は5日午後4時まで	3/6(火) 人間心理編入は難波サテライトで受験	3/9(金)	3/9(金)～3/23(金)	小論文(50分100点)／面接
別科入試Ⅱ期 (密教専修・スピリチュアルケアコース)	2/13(火)～3/1(木)消印有効 窓口受付は5日午後4時まで	3/6(火)	3/9(金)	3/9(金)～3/23(金)	試問票／面接
一般入学試験 (後期)	3/5(月)～3/20(火)必着 窓口3/22午後4時まで可	3/23(金)	3/26(月)	3/26(月)～3/30(金) 窓口手続き可	国語総合(50分100点) 小論文／コミュ英語(50分100点)

マハー・ヴァイローチャナ大日如来(摩訶毘盧遮那如来)

高野山大学 学報 Vol.76

2017年7月1日(1月・7月年2回)発行 発行人/乾龍仁 編集/高野山大学 企画課

発行所/高野山大学 〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 TEL. 0736-56-5445 FAX. 0736-56-2746